

海上保安学校総合実習棟



■配置計画

- ・艇庫への艇の出し入れしやすく、構内の通行の妨げにならないよう、鍵型の平面形状としています。
- ・既存建物群と並行配置の並びとして、海上保安学校の規律正しい印象を与える配置としています。

■周辺環境への配慮

- ・構内の既存高層建物と色彩を合わせて白色の清潔な印象を与える建物として計画しています。
- ・建物高さも既存寄宿舎の5階建て（一部搭屋）と同程度の高さとしてスカイラインを合わせた計画としています。

■地球環境配慮建物

- ・太陽光発電パネルを屋上に設置し、当施設での電力利用に供しています。
- ・窓ガラスにはLow-Eペアガラスを採用して建物の高断熱化を図っています。
- ・高効率設備機器を採用して運用エネルギーの省力化を図っています。
- ・実習室、自習室、娯楽室の内装の木質化を図っています。

■学生の安全を守る災害に強い対応

- ・耐震安全性の分類はⅡ類を採用することで、大地震時の人命の安全確保及び機能確保を図っています。
- ・予想される土砂災害時には本棟腰壁で土砂を受け止める強度を持つ構造として計画しています。

■施設概要

施設名称：海上保安学校総合実習棟
所在地：京都府舞鶴市字長浜 2001 番地
敷地面積：100,156.12㎡
用途地域：準工業地域、市街化調整区域
階数・床面積：地上6階 5,878.98㎡
建物用途：実習室、学生寮、艇庫等
発注者：国土交通省近畿地方整備局営繕部
設計：株式会社 大建設